

中央大学父母連絡会

Kusa no Midori

巻頭特集

FOCUS! 法学部

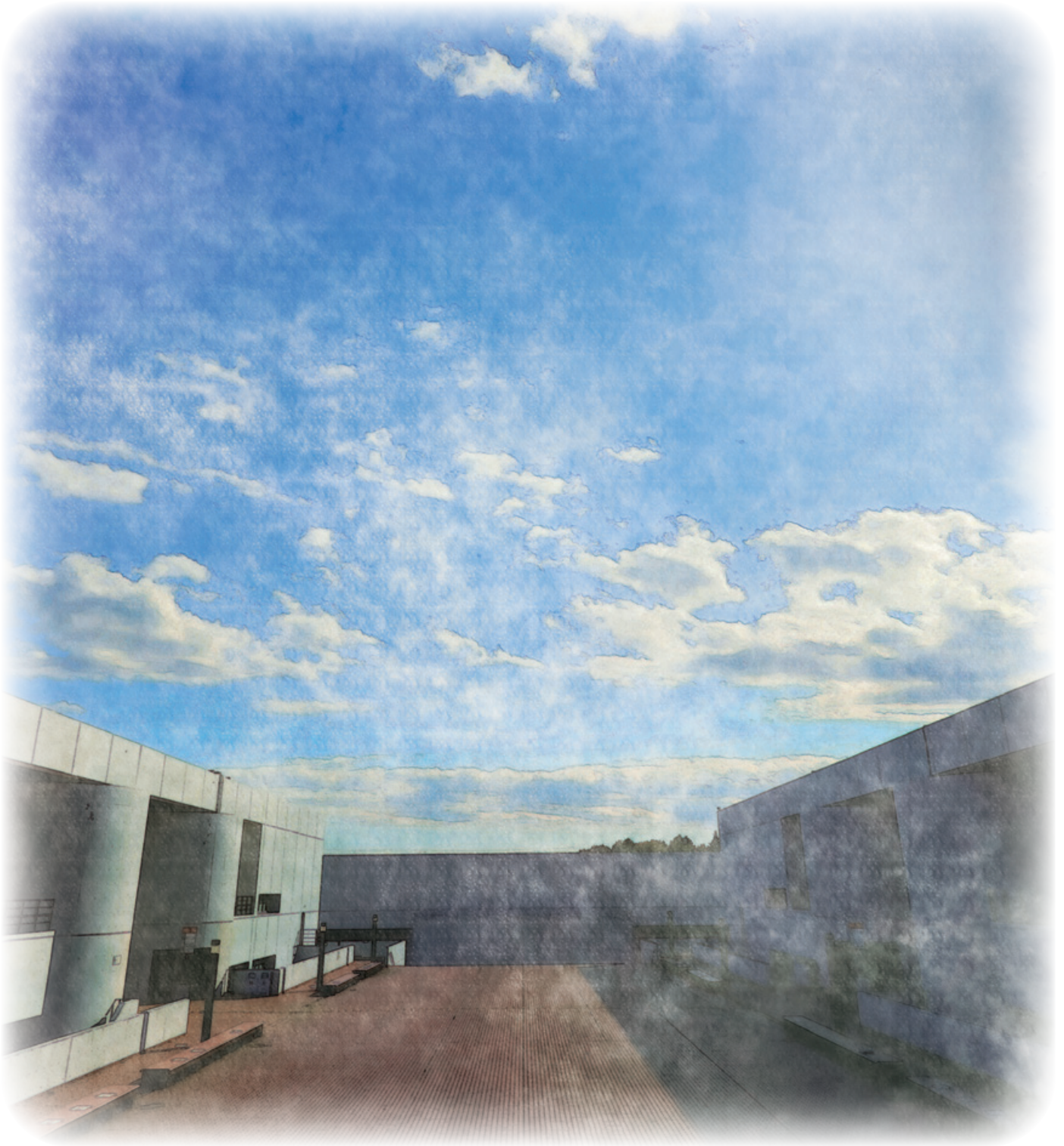
草のみどり

1

2021 January

Vol.323

2021年1月号





Be Ahead of the World
**世界を動かす
 人になろう** vol.05

はじめに

新年あけましておめでとうござい
 ます。

2020年は、新型コロナウイルス
 感染症の影響拡大により、私たちを取
 り巻く世界が大きく変化し、皆さまそ
 れぞれ大変な一年を過ごされたことと
 思います。

私自身もオンライン授業への移行
 や、夢であった長期留学の延期を余儀
 なくされるなど、2020年は社会情
 勢に大きく振り回された年でした。し
 かし、振り返ってみると充実した年で
 もあったと感じています。ここでは、
 国際経営学部生としてこれまでの軌跡
 から学んだことについてお話しさせて
 いただきます。

海外で活躍するという目標を持つ



1年次に短期留学したワシントンD.C.にて

私は、将来ビジネスを通して世界中
 の人々の役に立てるようなことを成し
 遂げたいと考えています。

そのため、多様な価値観に触れ、学
 生である今しかできない体験をするこ
 とが必ず将来のキャリアに生きてくる
 と信じ、留学に対して一種の憧れを抱
 いておりました。

中央大学国際経営学部に入學し、1
 年次の夏に学部カリキュラムの一環と
 して参加したワシントンD.C.への
 短期留学では、世界を舞台に活躍され



海外での活躍をめざす筆者

ている方々から直接お話を伺った
 り、現地大学の講義を受講したり
 と、とても充実した1カ月を過ご
 すことができました。また、学内
 でも留学生との交流や英語での講
 義に浸かる日々のおかげで、留学へ
 の想いは以前にも増して強いもの
 となり、短期留学後は夢であった長期
 留学を実現させるために、情報収集や
 語学の勉強に励みました。

幸い、希望していたオランダのフォ
 ンテイス応用科学大学への交換留学生
 として採用されたのですが、新型コロ
 ナウイルス感染症の拡大という予想も
 していなかった困難に直面することに
 なります。未知の感染症に対して次々
 と国境を閉ざす国々を前に、当然なが
 ら私一人の力ではどうすることもでき
 ず、2020年8月に渡航予定だった

**夢に向かって
 今できることを大切に**

まつむら たける
松村 岳

国際経営学部国際経営学科2年
 私立明星高校(東京都)出身

留学の延期が決定しました。

気持ちを切り替え、新たな挑戦を

長期留学という一つの大きな目標
 を失い、一時は途方に暮れていた私で
 すが、思い悩んでも状況は変わり
 ません。延期決定後は、「留学への準
 備期間が増えた」と捉えて、専攻であ
 る経営学関連のオンラインセミナー
 や語学レッスンなどを受講し、自分自
 身の能力を高めることに集中するよ
 う気持ちを切り替えて日々を過ごし
 ていました。

そんなとき、友人から「ビジネスコン
 テストに出ないか?」という連絡があ
 りました。留学先の大学では、学生同
 士のグループワークを重視した講義が
 数多く開講されると聞いていたので、

良い練習にもなると考え、参加を決意しました。

私を含め集まった仲間は6人。「日本酒の市場規模拡大」をテーマに、それぞれのアイデアを持ち寄り、毎晩のようにオンラインミーティングを行いました。これまで、自分自身が主体となり、チームで一つのことに打ち込むという経験がなかった私にとって、それぞれの考え方や価値観の違いなどには戸惑う場面が多々ありました。しかし、留学中はもちろん、社会に出たら幾度となく直面するであろうこうした衝突を肌で感じ、自分自身の課題にも気づかせてくれたこの経験は、何ごとにも代え難いものであったと考えております。国際経営学部では、チームマネジメントや人的資源論などについて学びますが、そうした学びを実践的に



オンラインプレゼンテーションの準備風景

From the Faculty of Global Management



国際経営学部
だより



「経営」を学び、
実践してみよう

国際経営学部教授
なかむら じゅん
中村 潤

最近、学生から気になる言葉を耳にします。それは「英語をマスターしたい」という内容です。

私は仕事の関係上、数十カ国を訪問してきましたが、異国での業務で何より不可欠だった要素は、英語よりはむしろ度胸であり、洞察であり、ユーモアを通じて異国文化に同化するセンスでした。「語学を学ぶ → 国際経営の要素が身につく」わけではありません。では、将来の国際経営を担う学生としてどうすればいいのか。

これからは、日本的な「行間を読む」とか「暗黙の了解」を読解するような能力もさることながら、リベラルアーツ、つまり、分析的・構造的な手法を学

び、論理的思考を身につけ、表現力とプレゼンテーションといったコミュニケーション力に重点をおくべきでしょう。

また、経営で大事なものは「起承転結」です。それは作文の方法ではなく、「人にいかに動いてもらうか」であり、次のようなさまざまな人のタイプを連携させるのです。

- 起の人(アイデアを想起する)
- 承の人(それを仕様に落とし込み創り上げる)
- 転の人(さまざまな市場機会に展開する)
- 結の人(利害関係者と取引をまとめ上げる)

人にはそれぞれ強みも弱みもあります。個性や持ち味を見極め、効果的に人を配置し、成果を上げることこそが経営です。その意味で経営は、ナマものである人を生かす仕事です。国際経営を担う学生にとって一番インパクトがあるのは、学生のうちに自分の好きな分野で会社を設立し、経験することに尽きます。「学ぶ」ということは「学生」なので当たり前ですが、何を学ぶのが問題です。成功事例を学ぶだけではなく、失敗を恐れず自らが経営を実体験すれば、迫力満点です。

再び世界への扉が開く日まで

応用することの重要性、そこから得た新たな気づきなど、組織の一員としてチームに貢献するための貴重な経験を積むことができました。

結果としては、メンバーそれぞれの個性が光ったプレゼンテーションが完成し、優秀賞をいただきました。オンライン上で「密」となり、意見をぶつけ合った日々は良い思い出です。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、私たちの生活は大きく変わってしまいました。現状に文句をつけることは簡単ですが、何の進展ももたらしません。

オンライン授業の利点である時間の柔軟性を最大限に活用して、先述したビジネスコンテストのほか、全国学生英語プレゼンテーションコンテストへの出場、学内外で行われるオンラインセミナーへの参加など、今だからこそ

できることを大切にして日々精進してまいりました。再び世界への扉が開き、留学へと飛び立つ日が来ることを願いながら、今できることを大切にさまざまなことに挑戦していきます。

最後になりましたが、ここまで私を支えてくださったすべての方々に、この場を借りて心より御礼申し上げます。2021年が、皆さまにとって素敵な一年でありますように。